

令和7年度

札幌市文教施策に関する要望書手交式

令和6年10月30日、札幌市教育委員会 会議室において「令和7年度札幌市文教施策に関する要望書」手交式が執り行われました。札幌市教育委員会から山根教育長、廣川教育次長、井上生涯学習部長、大瀬生涯学習推進課長にご出席いただき、札幌市PTA協議会からは高原会長、高瀬副会長、青山総務委員長、村田総務副委員長、坂上総務委員が出席しました。高原会長から山根教育長へ「要望書」の手交の後、青山総務委員長から要望書の概要について説明を行いました。本要望書は、札幌市内約12万世帯から寄せられた3,033件の文教施策に向けての貴重なご要望やご意見を札幌市10区の各PTA連合会から選出の10名の委員で慎重に精査しまとめ上げたものです。山根教育長から「要望書の内容は子どもたちに必要なものばかり。総務委員会での議論、精査の結果を、札幌市教育委員会としてしっかり受け止めます。日頃、子どもたちと接してくれているPTAとの直接の対話はありがたく、貴重なものと考えている」とのお話をいただきました。その後、和やかな雰囲気でご懇談が行われ、猛暑対策やすぐる活用拡大、いじめ防止に向けての相談窓口周知カードなどが話題に上がりました。今回の要望書に対する回答書の手交式は、令和6年12月26日に執り行われる予定です。



札幌市PTA協議会のホームページでは、過去の要望書、回答書ならびに意見書(令和5年度より、要望書の記載に至らなかった貴重な声も意見書として教育委員会へ提出しています)をご覧ください。



第138号12月2日発行

PTA さっぽろ

- 編集・発行：札幌市PTA協議会 広報委員会
- ホームページ <https://sapporo-pta.gr.jp/>
- e-mail shipikyo@sapporo-pta.gr.jp
- 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1-1-10
札幌市生涯学習総合センター3F TEL. (011) 671-2371
- 印刷：株式会社OK印刷

札幌市教育委員会への要望

【授業・学習について】 欠席者のオンライン授業・リモート授業・chromebookの活用などITの学校現場での活用について、より効果的に進めるための取り組みを希望します。また、各学校へICT活用に関する支援員を配備するなど、サポート体制の充実を希望します。

【教職員について】 教職員が、子どもたち一人ひとりと向き合う時間を確保できるように、教職員の増員・加配・専任教師の配置を希望します。

【特別支援・通級指導教室について】 子ども一人ひとりの特性に応じた柔軟な支援ができるように、専門的な知識を持った教職員の増加と配置を希望します。

【支援専門スタッフについて】 今年度より導入されたアプリにより、スクールカウンセラーへの相談希望の増加が予想されるため、増員や勤務時間数の増加を希望します。また、中学校では相談の予約が取れないとの声が多いことから、重点的な配置を希望します。

【いじめについて】 「相談窓口周知カード」について、いじめに対する周知を徹底するためにも小学校3年生以下についても対象とすることを希望します。

【学校設備について】 子どもたちの熱中症に対する危機感と教職員の労働環境の改善の観点から、可能な限り前倒しでのエアコン設置工事の実施を希望します。また、全校設置完了に向けた学校ごとの具体的な設置工事計画の提示を希望します。

【幼稚園について】 「研究実践園」として、質の高い幼児教育の推進に取り組み小学校教育につながる市立幼稚園の存続を希望します。

【部活動について】 中学校の部活動の情報を小学校と共有するとともに、近隣中学校同士の部活動連携の拡充を希望します。

【図書について】 学校図書館の蔵書充実や、小学校への学校司書の配置など、子どもの読書環境と読書活動を更に充実させる取組を希望します。

【その他について】 PTA活動周知に係る各校のすぐる利用に向けたガイドライン等のルール作りを希望します。

子どもたち自身の『生きる力』を引き出し 育むために

令和6年度 札幌市PTA協議会 研修セミナー

11月12日(火)、ちえりあホールにて、元北海道コンサドーレ札幌の選手であり、現在は同社のアカデミーダイレクターを務める石川直樹氏を講師にお迎えして、研修セミナー「保護者でもある石川直樹が考える子どもの『生きる力』の育み方」が開催されました。札幌市立の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校のPTA会員を対象に、多くのご参加をいただきました。幼少期・選手時代の経験を元に、辛く苦しい時をどの様に乗り越えてきたのか、何を学び今に至ったかを、映像を交えながらお話しされた石川氏。「大切なのは、自分の事は自分で決め行動すること」「行動に引っ張られて気持ちがついてくる」という言葉が心に響きました。



保護者は、子どもの心の逃げ場をいほしい。子どもは自分で決めた事は頑張り、やり遂げる力がある。子どもに寄り添ってから向き合う。子どもと共に親も学び続け、成長を続けたいと強く思う研修でした。

大切にしたい子育ての神髄～子育ての不易と流行を考える

第71回

日本PTA北海道ブロック研究大会 石狩管内 千歳大会

■とき：令和6年10月19日(土)・20日(日) ■ところ：北ガス文化ホール・千歳市立千歳中学校・ANAクラウンプラザホテル千歳

第1分科会では、南区PTA連合会が、活動を表彰された「澄川小学校保護者と先生の会」および「藻岩中学校父母と先生の会」からの提言と、区内の単位PTAをつなぐ役割を担う、区PTA連合会としての提言を行いました。単P活動と区P活動を多角的に見る組織運営について、住む地域も、立場も違う参加者が20のグループに分かれ、「持続可能なPTA活動を考える」、「学校と地域を繋ぐPTAの在り方」について、活発な研究討議となりました。札幌市の様な組織体系(単位PTA、各区PTA連合会、市PTA協議会)を持つ連合会としての提言をきっかけとし、地域を越えて「つながる」、子どもの健全な成長を願う、という共通点のもと、どのグループも活発な意見の交換が行われました。

石狩管内の7つの市町村(石狩市・当別町・新篠津村・江別市・北広島市・恵庭市・千歳市)のPTA連合会が心をひとつにし、千歳市内の3つの会場に全道各地から多くのPTA会員を迎えて開催されました。初日には、オンラインも含めて7つのテーマに分かれて分科会が行われ、2日目は、恵庭紅鴉(えにわべにがらす)によるYOSAKOIソーラン演舞と全体会のあと、株式会社植松電機代表取締役および継続型就労支援A型作業所(株)Unizone代表取締役の植松努氏による記念講演が行われました。

第5分科会のテーマは「PTAの活性化を図るICTの効果的な活用」。「ICTを利用した手稲区PTA連合会の活動」と題し、コロナ禍を経て「どんな困難な時でも歩みを止めない」との思いで活動を続けるための取り組みについての提言でした。区P連合会の佐々木勇人さんが「PTAに参加してよかったと思うようにICTを活用して負担を減らし、参加しやすく、参加してみたいと思えるような活動のあり方や内容の検討について、副会長の細川和彦さんは、手稲山口小学校でのアンケートや発信物などの実例紹介と、単Pの活動をお手伝いするのが区Pの役割、とのお話をして下さいました。会場で参加者にQRコードからICT活用に関するアンケートをとり、リアルタイムで結果がスクリーンに表示され共有出来たのが興味深かったです。グループ討議も大変真剣に熱く行われ、貴重な時間となりました。「顔を合わせて話し合う事も必要、ICTとベストミックス、が大切」との言葉がぴったりの会場でした。



	分科会テーマ	提言担当
第1分科会	組織運営 多方面から見た組織運営のあり方	札幌市PTA協議会 (札幌市南区PTA連合会)
第2分科会	家庭教育 ～「食べる」「遊ぶ」「話し合う」ことの大切さ～	南空知PTA連合会
第3分科会	学校支援 保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動	釧路市PTA連合会
第4分科会	地域連携 子育てを支える学校と地域のつながり	函館市PTA連合会
第5分科会	食育・情報 PTAの活性化を図るICTの効果的な活用	札幌市PTA協議会 (札幌市手稲区PTA連合会)
特別第1分科会	中学生討論会 SNSとの上手な付き合い方を考える (Zoom分科会)	北広島市PTA連合会
特別第2分科会	地域課題 持続可能なPTA活動を目指して (Zoom分科会)	当別町PTA連合会 新篠津村PTA連合会



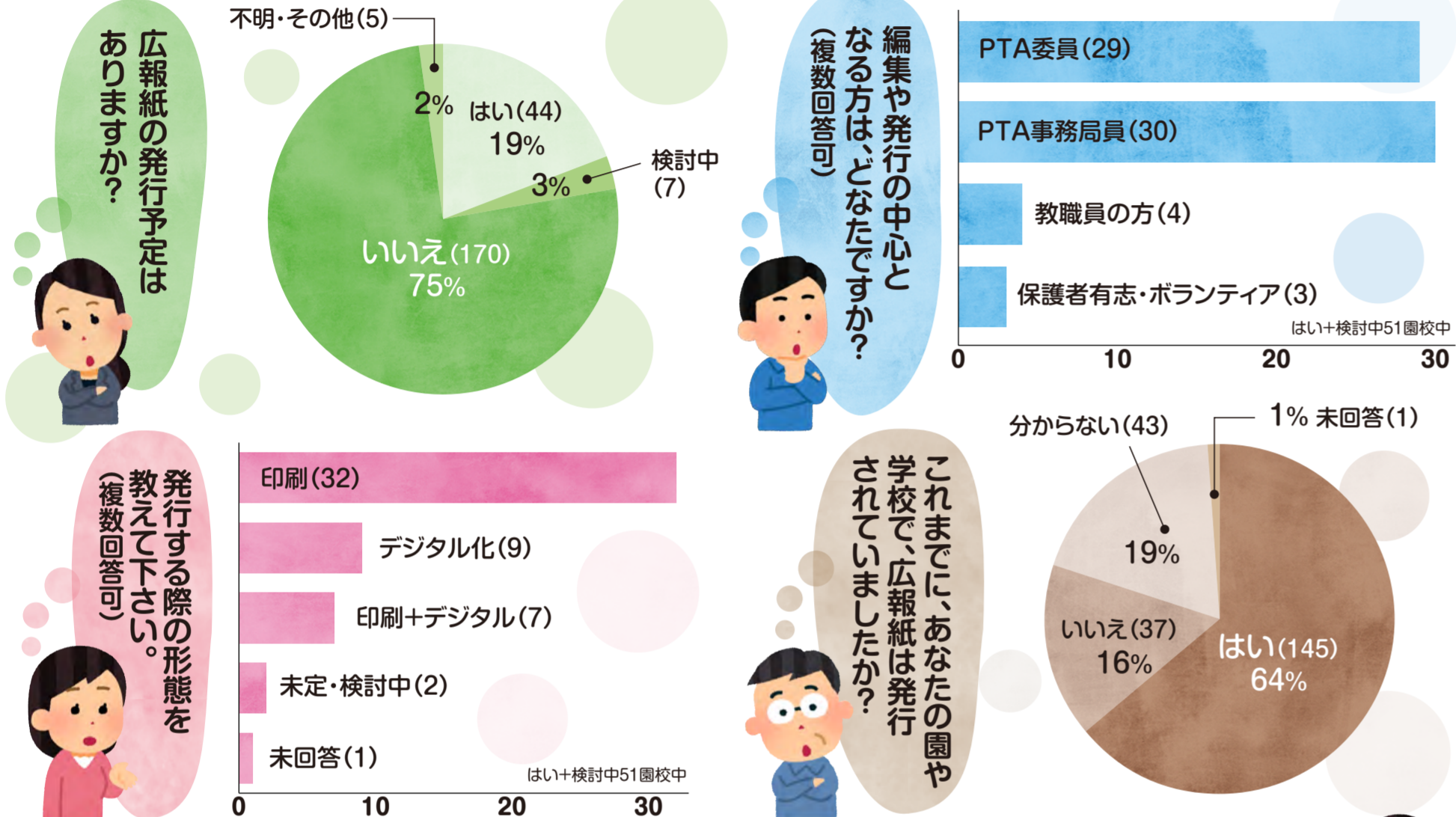
PTA活動全体の見直しや物価の高騰 個人情報の取り扱い方の変化などから 広報紙のあり方が問われています。

広報活動について考えてみました

こんな時代だからこそ 「いま」を「未来」に つなげませんか。

アンケート結果より(数値は団体数)

札幌市PTA協議会に所属する単位PTA303団体にアンケートをお送りし、226団体よりご回答を頂きました。ご協力いただき、ありがとうございました。(カッコ内は団体数)



制作会議の方法は?

～平岡公園小学校父母と先生の会～の場合
ボランティア参加なので、広報紙作成に本当に興味がある、関心がある人が集まります。お互いの意見が反映しやすく、ICTなどを活用して直接学校へあつまらなくても意見交換やチェックができるのが良いです。

「行動制限」が必要とされた時代を経て、ICTが急速に身近なものとなりましたね。

広報紙作りにチャレンジ!

～稲積小学校PTAの場合～
以前は手書きの手作り広報誌を作成していました。しかし、コロナ禍やPTA活動のスリム化に伴い次第に広報紙の作成がストップしてしまいました。

事務局員の思い
お祭りや交通安全活動、花壇の整備活動など…
●保護者の皆さんとの活動を共有したい!
●参加できなかった方にも知ってもらいたい!

PTA会員の思い
●すぐで配信してもらえたら見やすいな
●もっと写真などで活動を見たいたい

学校長
保護者のニーズに合わせて、1年間のPTAでの活動記録を兼ねた広報紙(PTA便り)を復活させよう!

みんな、忙しくて集まらない……
共有しながら作成できるアプリを用いて、それぞれが空いた時間を利用して、自宅作業したらどうだろう?

今年、手稲区PTA連合会主催のパソコン講習会があり、事務局員2名で参加。気軽に楽しく文書を作る技術を教えていただきました。
実際に試し、自信もついたところ…
現在、事務局メンバーで、それぞれがパソコンや携帯を用いて広報紙を作成中です!

どうやって配布・配信する?

紙面で配布するメリット

～太平南小学校 保護者と先生の会～の場合
『家庭に1冊の広報紙』があることで、少しでも親子の会話のきっかけが出来たらな、と思っています。後で見返した時に、この時代のPTA活動はこんなことをしていたんだなあ、子どもの行事も今と違ったんだなあ、と思ってもらえると嬉しいです。

～義務教育学校 福移学園PTA～の場合
福移小中学校としては、最後の号になるので、カラー版で手元に残したいという思いがあり、印刷して配布することにしました。

紙にこだわらない広報の方法

～匿名希望～の場合
今年度より「すぐる」で配信となり印刷や配布の手間が省けたほか多くの保護者様が見て頂いた実感があります。また撮影した写真も枚数を減らすことなくかつカラーでたくさん添付できたのが良かった点です。

参考にしてみてください

①『全国小・中学校広報紙コンクール優秀広報紙作品集』
公益社団法人日本PTA全国協議会にて書籍を販売しております。(在庫のあるバックナンバーも購入ができます。)
ホームページ⇒<https://www.nippon-pta.or.jp/>

②『札幌市PTA広報紙まつりの受賞作品』
過去数年分の受賞広報紙は、PTA会員の方に貸し出しをすることができます。貸し出しを希望される方は、札幌市PTA協議会事務局までご連絡ください。

第46回 札幌市PTA広報紙まつり

受賞校に聞いてみました

義務教育学校 福移学園PTA

広報を担当される方は、どの様にして決めましたか?
PTA役員の中から「やりたい!」と希望された方が広報を担当しています。毎年スムーズに決めることができている。周りのフォローがあるので、一人で大変な思いをすることはありません。

掲載する内容は、どの様にして決めましたか?
いろいろな意見が出ました。最初は、例年通りに紙面をまとめようと考えていました。その際、副校長先生から、「今までの歴史を振り返らうというので、例えば座談会をするのはどうでしょうか。」というアイデアをいただきました。「小中学校から「義務教育学校」となる前の、最後の発行となるので、記念に残る広報紙にしようという意見にまとまりました。作成年度の校長先生と広報担当教員が、福移小中学校の担任と教員として在籍していたことがある、という偶然も重なって、座談会のメンバーが決まりました。学校の昔々を知っている人たちが身近にいたというのも、非常に大きいです。

記事の作成に関して、大変だった点はありますか?
●座談会の内容をテープから文字起こすこと
●座談会の内容がすべて載せられないこと
●膨大な内容から、興味を引く内容は何かを考え、厳選することで記事にするページ数に合わせて、座談会の時間をあらかじめ決めておけばよかったというのが反省点です。

PTA広報紙が担う「役割」について、皆様の想いを教えてください
広報紙を発行しない学校も増えてきていますが、福移小中学校、そして義務教育学校福移学園は小規模の学校なので、広報紙を作成し、発信することで、私たちの学校をもっと知ってもらいたいという想いがあります。

さいごに一言!
小中学校が義務教育学校に変わるということはめったにないことですが、50周年や100周年などの節目の際に、学校の歴史を振り返るような広報紙を作ってみるのもいいかなと思います!

太平南小学校 保護者と先生の会

広報を担当される方は、どの様にして決めましたか?
毎年、年度初めに、他のボランティアと同時に募集を行います。ボランティアが集まれば広報紙を作成します。

掲載する内容は、どの様にして決めましたか?
過去の広報紙や他校の広報紙も参考にしながら、メンバー全員で意見を出し合い、本当に伝えたい内容を厳選しました。PTA活動がメインで、その他に学校での子どもたちの活動や、地域のことも含む内容を考えています。

記事の作成に関して、気をつけた点はありますか?
見やすさ(文字の大きさ、バランス)わかりやすさ、伝わりやすさに気を付けています。内容の点では、校内の出来事だけに注目するのではなく、地域との関わりについても載せて、学校・保護者・地域の繋がりを広く伝えられるように心がけています。写真は、先生方にチェックしていただき、掲載できる写真をうまく使いつつ作成しています。

PTA広報紙が担う「役割」について、皆様の想いを教えてください
学校でどんなことをしているのか、PTA・ボランティアはどんな活動をしているか、地域との関わりとは具体的にどんなことがあるのか。たった1冊の広報紙でも伝えられる内容は沢山あると思っています。6年間毎日通うのは子どもたちですが、小学校について保護者が何も知らずに過ごすより、「親子で過ごす小学校6年間」として少しでも充実したものになるよう、広報紙の内容が多くの方に伝わっていくといいな、と思って作成しています。

今年度の広報紙まつりは、大きく変わります

これまでの、「広報紙」のみの募集としましたが、今年度は、Web・PDF・すぐる配信など、紙面以外で発行されたものも、募集の対象とします。皆様が心を込めて作成された作品を、是非見せてください。

- 応募期間 令和6年11月15日～12月27日必着
- 応募方法 10月下旬に各校へお送りした実施要領をご覧ください。

作品展示のご案内

- 期間 令和7年2月17日(月)～20日(木)
- 場所 札幌市生涯学習総合センター「ちえりあ」1階ロビー

応募条件には、年間行事を必ず入れなければならないですか?
「PTA活動の紹介」なので、必ずしも「年間行事」でなければいけない事はありません。また、「PTA活動の紹介」がない場合でも、是非見せてください。

広報紙まつり表彰式および広報紙交流会

- 日時 令和7年2月17日(月)14:00より
- 対象 ご応募された園・学校 (参加用紙へ人数をご記入ください)

広報紙活動に興味のあるPTA会員 (二次元コードよりご応募ください)

希望者多数の場合は、応募用紙をご返送いただいた園校を優先いたします。期日が近くなりましたら、ご案内を差し上げます。

ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう「縁」の力～

第72回 日本PTA全国研究大会

第56回 日本PTA関東ブロック研究大会

川崎大会

■とき:令和6年8月23日(金)～24日(土) ■ところ:川崎とどろきアリーナ

全国から約6,000人の参加者が一つの会場に集い、2日間にわたり講演、実践発表等を一体となって聴き、意見を交換しあう、これまでにない方式で開催されました。大会キーワード「ウェルビーイング」が容易に定義づけできる言葉ではないことが、参加者の多様な想いを引き出し、充実した意見交換につながったと感じました。



	テーマ	
特別第1	日本PTA担当	全国のPTAの縁をいかに力強く進める教育環境改善への提言
全体基調講演	社会教育・今日的課題	誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて
特別第2	文部科学省協力、地域連携・人権教育	大人が変われば子供も変わる! ウェルビーイングの社会実装
セッション①	今日的課題・社会教育	多様性を認め合う心豊かな社会を目指して
セッション②	家庭教育	子供たちと一緒に自己肯定感を高め合う家庭教育の大切さ
セッション③	学校教育・地域連携	地域や社会に広げるウェルビーイング! 住み続けたいまちへ
記念講演	今日的課題・人権教育	ウェルビーイングを社会に広げることの大切さ

第79回 指定都市PTA情報交換会

「かけはし」～子ども・保護者・学校・地域…そして未来へ～

■とき:令和6年9月12日(木)～13日(金)

■ところ:ザ・ニューホテル熊本

全国から16の指定都市PTA(連絡)協議会が熊本市に集まり、2日間の日程で情報交換会が開催されました。初日には「組織・運営」「研修活動」「地域連携」「広報・情報活動」の、それぞれのテーマに沿った活発な意見交換、2日目には「SOSのカタチ」と題した熊本市立出水南中学校校長 田中慎一朗氏による記念講演が行われました。指定都市PTAにおける共通の課題発見及び解決に向けた検討を行うことができ、大変有意義な会となりました。



分科会	内容
第1分科会	組織・運営 「PTAのあり方」
第2分科会	研修活動 「防災」
第3分科会	地域連携 「コミュニティ・スクール」
第4分科会	広報・情報活動 「ICT活用」

PTA活動とインターネット接続について考えてみました

ある日の広報委員会の活動中…

委員A:最近、とても気になることがあって。

委員長(以下B):どうしました?

A:会議や資料の共有など、PTA活動の様々な場面で、インターネットの接続が必要となる機会が増えてきましたよね。

B:確かにそうですね。

A:例えば、PTA室から事務局用のパソコンを使ってインターネットに接続する時はどうしていますか?

委員C:学校のネット回線はPTA活動に使えないし、自分のスマートフォンのテザリングを利用…かなあ?

A:でもそれって、テザリングのオプション料金や通信費※は自腹ですよね?

一堂:…確かに。(困惑の表情)

A:ちょっと調べてみませんか?

B:良いですね!調べてみましょう!

※携帯会社によってシステムや価格は異なります。



今回は4GLTE対応Wi-Fiモバイルルーターという手段で考えてみました。その名の通り「移動式(持ち運べる)」通信の機械です。



通信回線会社と契約が出来たとしても

- 使用する施設への工事が発生するものは、設置に困難を極める
- 役員が変わると、名義変更手続きが煩雑になることが想定されます。
- 対応するWi-Fiモバイルルーター(本体)は、レンタルではなく、購入する方法で考えました(1万3千円～1万7千円程度)。
- 初年度のみ購入費が発生しますが、2年目以降はData SIMの購入代金のみ支出となり、データ容量20GBで5千円程度です。
- 契約が不要のタイプを選ぶと、役員が変更になっても、事務手続きや事務手数料は発生しません。もし、1年経たずにデータを使い切った場合は、Data SIMを追加で購入することもできます。



モバイルルータ(本体)は、契約したいData SIMの通信回線会社に対応しているものを選びましょう!



PTA共済会からのお知らせ
傷害状況調査報告

2024年4月1日から9月30日までの、学校管理下外での「けが」に対する、共済金給付請求から、給付件数・発生原因行動・傷害の種別などについて表しました。

●学童の学校管理下外

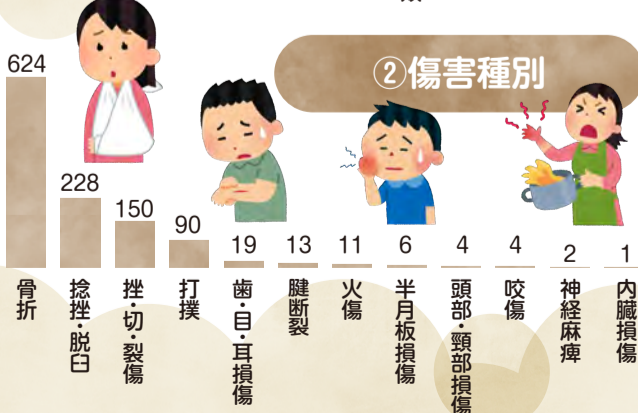
共済金給付件数は、1083件ありました。校種別の給付割合は、園児0.5%、小学生87.5%、中学生12%になりました。学校管理下外の生活の中で、1日におよそ6人のけがが発生していることとなります。

けがの原因になった行動では、「遊び」の場が最も多く次に「スポーツ」の場となっています。

① 傷害発生原因行動



② 傷害種別



けがの内容も多種にわたり、特に骨折が著しく多く624件をかぞえ、けが全体の54%(昨年度前期は53%)と極めて高い比率で、安全指導上特に留意すべき事柄といえます。自転車によるけがは、96件で例年と同程度の件数でした。さらに安全意識の向上を図るための共済会安全啓発事業の幅広い利用を呼びかけていきたいと思っております。

●交通事故

交通事故は27件でした。全体のけがから交通事故件数の占める割合は2.4%ですが、そのほとんどが自転車と車の事故です。一般の自転車事故にもいえることですが、自転車を使用するに当たり、使用の開閉期をはじめ、使用範囲や時間帯、整備状況、乗り方、ヘルメットの着用など、安全に対する意識を高くもって自転車を利用することが大切です。保護者の皆様には日常的に指導していただき、子どもたちの安全に配慮していただきますようお願いいたします。

●PTA共済会に関してご不明な点は

各単位PTAの事務局または、札幌市PTA共済会の事務局(671-1237)へお気軽にお問い合わせください。